

兵庫県保険医協会

但馬支部ニュース

No.160

2019年12月15日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部
連絡先 〒669-5346 豊岡市日高町伊府660
谷垣医院 TEL/079-644-0010 FAX/079-644-0706

但馬支部第33回総会・記念講演

佐久総合病院・色平哲郎医師招き

農村部における地域医療学ぶ



医師や医療従事者ら15人が参加し、色平医師（右上）と但馬の地域医療の今後について意見交換した

但馬支部は9月22日、公立豊岡病院で第33回支部総会を開催。医師ら15人が参加し、2018年度活動まとめと19年度活動方針を承認するとともに、支部役員、協会医科評議員、予備評議員の選出を行った。記念講演は「色平哲郎先生が語る 農村部におけるこれからの地域医療とは～佐久総合病院における取り組みの実際～」をテーマに開催。JA長野厚生連・佐久総合病院地域医療部国際保健医療科・地域ケア科医長の色平哲郎先生が講師を、公立豊岡病院副院長の那須通寛先生が司会を務め、参加者と但馬における地域医療の課題などについて意見交換を行った。

（2面に藤井高雄先生の感想文、3面に新支部役員と活動報告、活動方針を掲載）

但馬支部第33回総会記念講演

感想文 住民のための医療 改めて考える機会に

豊岡市・ろっぽう診療所 藤井 高雄



公立豊岡病院の那須副院長（左）の進行で、西山協会理事長（右）と共に、地域医療の課題を共有

は泊まりこみで、広い地域を巡回しながら、寸劇は医師も含め職員が総出演で、夜は地域の方と「飲みニケーション」をしながら、地域の方の健康を維持してきたとのことで、講演でも寸劇を実際にやっていただきました。

私も30年前の学生の頃「日本農村医学研究会」の若月俊一先生（同病院名誉総長）がご存命だった頃、佐久総合病院へ2週間ほど研修に行かせていただき、小海診療所に配属されました。当時は、整形外科がご専門の先生が所長で、所長医師自身が針治療もされていました。

他の地域の出張診療所にも週1回出務、野辺山方面への訪問診療もその当時からされていました。月1回程度、日曜早朝胃カメラを、朝6時から、3人の先生により施行されていました。地域の方は高原野菜を出荷されている農家が多く、診療が始まる前に一仕事済ませておられる方が多いとのことでした。

現在の但馬地域の状況を考えると、佐久総合病院とは地域性が似たところもありますが、異なるところもあります。私たちの地域にどのような医療・介護・福祉の形が必要なのか、佐久と同じことをすれば良いとは思いませんが、「住民のための医療」という心が大切だと思いました。

地域住民の状況を分析し、豊岡病院を中心とした地域に目を向けた医療体制や、医師養成プログラムを作る必要があると思った講演会でした。

戦後から農村部にて医療活動を続けておられる佐久総合病院の歴史や現在の活動について、同病院の色平哲郎先生に紹介していただきました。医療が全く進んでいない農村部での医療提供の難しさや、「医療は農民のためにある」として、保健・予防活動のために、病院から農村に出たの健診活動や寸劇を含めた健康講話をされていると紹介いただきました。しかもそれ



終了後には色平先生を囲んで懇親会を行った

兵庫県保険医協会但馬支部役員 敬称略(2019年9月～2021年8月)

支部長	谷垣 正人(豊岡市)	副支部長	藤井 高雄(豊岡市)
幹事	坂本 健一(朝来市)	幹事	古澤 倫代(美方郡)
	野田 昌男(豊岡市)		山田 真義(美方郡・歯科)
	長谷川正宜(豊岡市)		由良 徹也(豊岡市・歯科)
	吉田 仁志(豊岡市)		
顧問	谷 尚(養父市)	名誉支部長	新田 誠(豊岡市)

2018年度活動報告

- 1、第32回支部総会記念講演(2018/8/5)では、「高齢者の口腔ケア～医科歯科連携にも触れて～」をテーマに神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科教授で協会副理事長の足立了平先生が講演し、会員ら20人が参加した。総会議事では、2017年度活動報告と2018年度活動方針が採択された。
- 2、シリーズ企画「他科を知る会(救急医療シリーズ)」を公立豊岡病院で開催(2018/9/15)し、会員や勤務医ら11人が参加した。公立豊岡病院救命救急センターの松井大作先生が講師を務め、救急医療各領域の症例を多数検討し、救急搬送の症例を元に開業医でどこまで処置するかのポイントも含めて解説いただいた。開業医と基幹病院の病診連携が図れる企画として好評を得ている。
- 3、協会研究部と共催で保険請求事務講習会(講師:下山均先生)を開催(2019/3/16・17)し、5人が参加した。
- 4、職員接遇研修会「患者接遇の基本とクレーム対応」(講師:マネジメントコンサルタント 松田幸子先生)を開催(2019/6/22)し、16人が参加した。
- 5、但馬地域の全病院を訪問し、医局での資料配布など勤務医への資料配布に取り組んだ。また、公立豊岡病院からの協力要請に応え、同病院と共催で教育講演シリーズ特別編「(ご家族のための)受験対策セミナー 中学受験・医学部受験合格攻略法」を開催(2018/10/18)し、中央受験センターの講師が、昨年度の入試結果の報告、傾向と分析、本年度の入試対策などをセミナー形式で行い、勤務医・ご家族ら6人が参加した。2019/5/24には同病院と共催で第1回教育講演「人生100年時代のライフプラン」(演者:野村証券株式会社神戸支店ライフ・パートナー課長)を行い、勤務医ら8人が参加した。後日の参加者への訪問で入会にもつながっている。
- 6、公立豊岡病院と共催で病診連携研究会「ポケットエコーによるPOCUS～講義とハンズオン～」を開催(2019/2/16)し、会員、勤務医ら13人が参加した。
- 7、『2018年病医院医師名簿』を発行し、但馬地域に隣接する病院を含む全20病院を掲載、会員から要望のあった高齢者施設一覧も掲載した。但馬地域の病院・医院からは、「病診連携に役に立つ」と好評を得ている。
- 8、支部ニュースを4回発行し、活動の報道を行った。
- 9、支部幹事会は10回開催し、研究会等の企画立案を行った。

2019年度活動方針

- 1、病診連携を深める取り組みとして「他科を知る会」(整形外科領域、皮膚科領域)をシリーズ企画で開催する。また、公立豊岡病院但馬救命救急センターとの共催で「救急医療」シリーズ企画も開催する。
- 2、歯科会員のニーズに応える企画を開催する。また、審査問題など医科歯科一体の企画を定例化する。
- 3、医療・介護・保健・福祉の連携を強める機会を設ける。
- 4、審査指導対策、労務問題、パソコンなど医院の運営に役立つテーマを取り上げ、「会員懇談会」を開催する。
- 5、医院経営研究会を年一回の定例企画として開催する。
- 6、診療現場を会場に、開業医がお互いに経験を気軽に交流できる場として「日常診療勉強会」を開催する。
- 7、幹事による会員訪問を行い、支部ニュース「但馬の息吹」欄で紹介していく。
- 8、開業情報をすばやく入手して新規開業医の100%入会を目指す。また、病院訪問とともに開業医と勤務医が一堂に集える企画を開催し、勤務医に入会を訴える。
- 9、支部ニュースの定期発行を目指し、親しみやすい紙面づくりを工夫する。
- 10、魅力ある幹事会運営に務め、若手会員の支部行事への参加を促進させる。
- 11、家族や従業員が気軽に参加できるような場をつくり、互いの交流を促進させる。
- 12、文化的な企画を積極的に取り入れ、環境・人にやさしい支部活動をめざす。

兵庫県保険医協会 但馬支部症例検討会

専門医に聞く

開業医でここまで診てほしい

<救急医療シリーズ第3回>

日 時 2020年1月23日(木) 19時~

会 場 公立豊岡病院2階第1会議室

テ - マ 腹痛の患者さんが来た時どうする？

講 師 公立豊岡病院救命救急センター

浜上 知宏 先生

共 催 大塚製薬株式会社

私たち開業医が診ている患者さんは、疾患の急変時や休日・夜間などの時間外には公立豊岡病院救命救急センターのお世話になります。

救急医は開業医の後医、いわば「最後の砦」であり、救急医の経験を私たち開業医に伝えてもらうことは、「怖いながらも必要」とかねてから思っていました。先日、その思いを同病院救命救急センター長の小林誠人先生にお話したところ、企画の趣旨に賛同頂き、「救急医療」をテーマに症例検討会をシリーズで開催することを確認しました。

前回は、講師の松井大作先生のわかりやすい講演とウィットに富んだ多くのスライドとで、非常に楽しくかつ有意義な内容でした。

今回は、浜上知宏先生に「腹痛の患者さんが来た時どうする？」をテーマにご講演をお願いしております。

日頃の疑問や気になる症例などもぜひお寄せください。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

【協会但馬支部長・谷垣正人 記】

兵庫県保険医協会 神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル 5階 TEL/078-393-1807

お申し込み F A X 078-393-1820

参加申込書 但馬支部症例検討会・救急医療シリーズ第3回(1/23)

病・医院名

お名前

市区郡名

電話

F A X